



碧南ロータリークラブ週報

第2385回例会 平成19年11月14日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

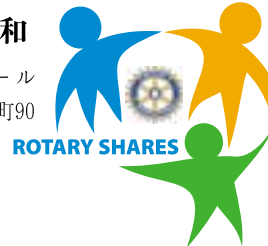
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
分かち合いの心

● 斉 唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

知立RC I.M実行委員長 橋本 光男様

I.M実行委員 山田 哲夫様



鈴木 敏弘会長

会 長 挨拶

『天高く馬肥ゆる秋』年々気候がおかしくなっていますが今日は気持ちの良い朝を迎えました。短い秋ではありますが十分秋を楽しんで頂きますようご祈念申し上げます。今日は大変残念なお話からさせていただきます。先月、顔をしばらく拝見していなかったので心配しておりました会員の吉井才司先生より退会したいとの電話が事務局にあり、早速石橋幹事と2人で伺ったところ、「今年1月に腰椎スベリ症で手術を受けたがどうも改善が思わしくなく、車に乗る事と座る事にかなり抵抗を感じロータリーに出席できない為、今年いっぱい退会をしたい」と申されました。創立50周年記念行事までとはお願いいたしましたが無持され、やむなく退会届を貰ってきた次第です。皆様もご存知の如く吉井先生は米山奨学へはメジャー寄付者であり退会届前にも30万円の高額寄付を頂きました。通算270万円になり、当クラブでは井上達夫先生と同額のメジャー米山功労者であります。先生は特にロータリー入会以来ロータリアンの温かい触れ合いにより視野が広がり、ゆとりある碧南生活が出来たと申され、取り分け森田英治様、新美孝様、平岩慶一様、平岩統一郎様、永坂隆一様、長田徳雄様、亡くなられた服部一彦様には公私共にご配慮を頂き御礼申し上げますという退会届を頂いております。吉井先生より皆様に申し上げて頂きたいといわれ退会届の一部をご案内申し上げた次第です。次に第5回理事会におきまして、あおみJセンターへの助成金について本年度も20万円を助成するという事で決まりました。但し事業収入に国、市より補助金が入るようになり、次年度より私とエレクトの平岩さんで聞き取り調査をして次年度の助成を行うかどうかの注文を頂きました。また、創立50周年記念実行委員会より碧南ロータリークラブ表彰規定につきまして提出され、本日皆様方のメールボックスの中に入れて頂きましたように理事会で決定しました。2.のその他は、実行委員会からではありませんが今後クラブの会員の方で特別表彰ができるようになった訳であります。そして次年度役員・理事が決定致しました。この事につきましては、12月5日の年次総会で指名委員長の山田純嗣先生より発表されます。本日は知立ロータリークラブI.M実行委員長の橋本さんよりPRがあると存じますのでお聞き下さい。以上今日は報告事項を申し上げ挨拶と致します。

知立ロータリークラブ

1.M 実行委員長 橋本光男様

3月5日に行われますI.MのPRに参りました。碧南の会員の方には1人でも多くのご参加をお待ち申し上げております。場所は知立市のリリオホールと知立セントピアホテルで実施いたします。中身を少しご紹介申し上げますと、クラブフォーラムでは9クラブの会長様にクラブ自慢をして頂こうと思ひます。クラブ自慢が他クラブの参考になるのではないかと考へます。碧南クラブの一番良いところを10分間でご紹介頂く。9クラブですので90分以上かかると思ひますが、三河分区が何らかの形で一つのものに繋がって行くのではないかと考へる元に行きたいと思ひております。知立クラブから見ますと碧南クラブは長男で知立は三男ですので、I.Mにもご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。



幹事報告

- ・他クラブの例会変更並びに第5回理事会結果報告は幹事報告書の通りです。
- ・11月18日(日)の地区大会にご出席で送迎バス利用の方は当日AM8時に碧南商工会議所より出発致しますので時間厳守でお願い致します。



委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80名(内出席免除者 12名) 出席者 60名	
出席対象者 53/68名	出席率 77.53%
欠席者20名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.44%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

知立RC 橋本光男君

本日はお世話になります。

3月5日のI.MのPRにまいりました。

杉浦 勝典君

10月末に新工場も親和建設さんを始め各メーカーのご協力で事故もなく立派に完成しました。生産も順調に進んでおり、有り難く思っています。

小笠原良治君

本年2度目の祝事があり、家庭がなんとなくさみしくなりました。でも、うれしい事です。

先週末還暦で、仲間と旅行に行ってきた。年はとりたくないです。

市川 裕介君

本日、卓話をやらせて頂きます。よろしくお願ひ申し上げます。

〈会員増強委員会〉

会員候補者のご推薦状の依頼

卓話

「私の履歴書」会員 市川裕介君

昭和33年12月 焼きそばで有名になりました、静岡県富士宮市に出生。

昭和33年と言えば、映画「Always 3丁目の夕日」の舞台となっている頃で、東京タワーも私と同じ12月にこの世に登場しました。父親が、お菓子を作っております家業を継がず、サラリーマンとなり、実家を飛び出したため、そのまま東京に移住致しました。祖父からすればさぞかし親不孝な長男だったことと思ひますが、幸い兄弟が多く、後継者問題は起こらず、現在でも無事に親戚がお菓子を作っております。味はともかく、設備は私が子供のころとほとんど変わっておらず、私は食べ飽きているせいもあるかも知れませんが、何故いまだに売れているのか少々不思議です。とは言え、父が家業を継いでいれば、平和な富士宮で毎日 富士山をながめつつ、そろそろ何代目かの社長であったかも知れず、それも悪くはないか



なと思ったりしております。大学まで東京で過ごすことになりました。昭和30年代前半の東京は、改めて申し上げるまでもないことでしょうか、23区内と雖も都心部でなければ畑ばかりで、流石にこちらは現在と様相は一変しております。ご存じないとは思いますが、先日、JR中野駅前の丸井本店の閉店のニュースが流れましたが、中学の頃、最上階にあったラジオの公開スタジオに、毎週土曜日に授業が終わると一目散に自転車で走ったのを懐かしく思い出しました。ちなみに司会者は薔薇が咲いたの「マイク真木」でした。そうこうしている内に、昭和57年に大学を卒業し、銀行に就職することとなりました。

●＜定期預金・積立獲得＞

大学4年の時のOB会の席で、先輩の誘いに乗せられ、東海銀行に入ることとなり、名古屋の南区にあります柴田支店に入学し、銀行員生活の始まりとなりました。当時の都市銀行は13行あり、預金量で順位を競っておりました。1. 第一勧銀 2. 住友銀行 3. 富士銀行 4. 三菱銀行 5. 三和銀行 6. 東海銀行 7. 三井銀行 8. 太陽神戸銀行 9. 東京銀行 10. 協和銀行 11. 大和銀行 12. 埼玉銀行 13. 北海道拓殖銀行 と言うような感じだったと思います。ちなみに大手16行と言いますとこれに、日本興業銀行、日本長期信用銀行、日本債権信用銀行の3行が加わっておりました。なんと、よりもよって私が入学したときに、東海銀行が三井銀行に預金量で抜かれる事態が発生し、「とにかく預金だ。定期預金・積み立てを獲得しろ」と言うのが上司の指示でした。寒い12月の夜に「今晚は、東海銀行です。定期預金お願いします。」と言った調子で大きな声を出して一軒、一軒、お邪魔しておりました。家の中からは団欒の音が聞こえるのですが、出てきて頂けないお宅もありました。お蔭様で定期預金はそこそこの獲得ができましたが、柴田支店の預金は思うように伸びず、業績も押して知るべしでした。自分はいったいぜんたい何をしに銀行に入ったのだろう、という思いでいっぱいになったのも正直なところですが、とは言ってもそんなに真剣に考えていたわけでもなかったのかも知れません。しっかりと嫁さん探しをしていましたし、現に未だに辞めてもおりません。たまたま昼時に支店長と喫茶店で一緒になり、支店長の仕事は何ですかと聞いたところ、「お茶のみながら新聞を読むことに見えるか？」と笑いながら答えが返ってきたのを覚えています。先輩には後で、なんて失礼なことを質問するんだと怒られました。余談ですが、昭和57年と言えば野武士野球と呼ばれた近藤監督の率いる中日がリーグ優勝をした年です。残念ながら「審判石ころ事件」等もあり、広岡西武に1勝4敗で破れました。私が中部地区に戻りました今年、ついに日本一、アジア一となり、不思議とドラゴンズとは縁があるような気がします。

●＜円高不況・プラザ合意＞

昭和59年10月 岐阜県の高治見支店に転勤となりました。ご承知のように高治見と言えば、美濃焼、また陶器・タイルの輸出の町です。転勤した翌60年のプラザ合意以降の急激な円高で、直前の1\$=¥242が、1日で10円の円高となるほどで、高治見の地場産業は大きな打撃を受けました。私が高治見に在籍している間は一貫した円高で、最終的には150円を突き抜け、140円程度となりました。まさに円高不況の真っ只中の日々で、これほどドル円の相場に世間が注目し出したのもこの頃ではなかろうかと思えます。仕事としては外為担当で、信用状とにらめっこしながら、慣れない英語の輸出書類と格闘していたのですが、輸出為替は見る見るうちに減って、しまいには外為が人員削減となり、みごとにクビになって、融資係になってしまいました。この頃私生活では無事に結婚をし、お取引先から茶碗、カップなどを頂きまして大変助かりました。今でも使わせて頂いております。当時、東海銀行の調査部が円高の予想をし、且つ銀行の見通しとして出しました。予想は見事に的中をした訳ですが、トヨタさんをはじめとする、多くの日本企業にとっては好ましくない円高予想を、しかも取引のある東海銀行が、よく発表したなど業界では言われました。

●＜円高不況に続く重厚長大不況＞

多治見支店の後は昭和62年1月に神戸支店に転勤となりました。関西は初めての経験でしたが、神戸と言う名前には惹かれました。実家に転勤の連絡をしたところ、おふくろに、「やっと支店名を聞いて場所がすぐにわかるところでよかったね」と言われたのを記憶しております。3月に長女が生まれたため、当初3ヶ月ほど単身赴任となりました。神戸は前を見れば海、後ろを振り返れば山と言う感じで、非常におしゃれな町で仕事を除けば大変楽しいところでした。当時、日本で初めてのエイズ患者が神戸で見つかったり、暴力団の発砲事件やら、朝日新聞阪神支局の襲撃事件やらと結構 町は大さわぎでした。太陽神戸三井銀行が誕生したのもこの頃でした。世の中はバブルと言われている時代に突入している中で、海運・造船を主体とする重厚長大産業と言う神戸支店の花形取引先を担当させて頂きましたが、何分にも円高等の影響は強く、かなりいろいろ勉強をさせて頂きました。そのおかげで、当時の東海銀行の中でも特に海運業界についてはエキスパート的な存在になってしまいました。ある時、他の支店の支店長から参考に意見を聞かせてほしいと言う相談の電話があった時は、さすがに自分でも驚きました。その他、華僑さんの企業も担当しましたが、宴席での乾杯、乾杯また乾杯には、付いて行くのがやっとでした。天安門事件は政府の対応について皆さん非常に怒っていました。ちなみに、平成元年の12月、株価は38,915円をつけておりました。

●＜バブル崩壊・失われた10年 その1＞

平成2年3月に東京の新宿新都心支店に転勤となりました。1月に長男が生まれておりました、我が家は子供が生まれる時期に引越しがあつたようでした。長女も長男も、出生届を出したところに住んだことが無く、特に長男に至っては我家で唯一の関西生まれです。銀行に入って通算6回目の引越しで、引越し慣れしているとはいえ、家内はさすがにうんざりしておりました。今回は単身赴任とはならず、暫く私の実家から通いました。着任当初はまだバブルの名残が残っていた時期で、新宿も歌舞伎町を中心にかなり賑わいを見せておりました。一杯飲んで帰りが遅くなりますと、タクシーをつかまえるのが一苦勞。電話で呼んでもつながりません。もう一軒寄って帰ろうと言うことになります。今から考えますと少々懐かしい感もあります。そのころは、仕事よりもタクシーを早くつかまえることの方が、評価が高かったのではと思ったほどです。翌年、担当先が変わり、引継ぎでお取引先の挨拶回りをしていた時、回っている最中に挨拶も終わっていないうちに倒産していくと言う事態が起こりました。バブル崩壊の幕開けでした。今では考えられませんが、支店の工事をしていたこともあって、内緒で出勤もしておりました。大蔵省検査用の説明資料作りも膨大で、よく体がもったものだと思います。この頃一度だけ真剣に銀行を辞めようかと思いました。バブル真っ盛りの頃の全国銀行の貸出残高は、約550兆円と記憶しておりますが、この10月末の速報で406兆円です。その減少うちの100兆円程度はバブルの処理といえるかも知れませんが、如何に減っているかがわかります。

●＜バブル崩壊・失われた10年 その2＞

平成4年10月に日本橋支店に転勤になりました。新宿新都心はバブル崩壊の縮図のような支店でしたが、日本橋支店といえば前身は旧愛知銀行の東京支店で、当事の東海銀行ではもっとも大きな支店で、お取引先も上場企業がかなりあり、バブル崩壊の影響もそれほど大きな支店ではありませんでした。一方で、この時期は、銀行もかなり背に腹は変えられない状況となっており、決算を組むのに株価に一喜一憂するような状況ではいけないと言うことになりまして、上場しているお取引先と株式の持ち合いについて、ご相談をしなくてはならなくなりました。多数のお取引先とのご相談の結果、残念ながらお取引に何ら問題があるわけでもないのに、取引解消となるケースもあり、担当者としては非常に辛い思いを致しました。仕事以外の面で、日本橋支店は日本橋保存会の会員になっておりましたので、年に一度は「橋洗い」という、車を通行止めにし

で日本橋を洗う行事に参加したり（我家の子供は大喜びでした）、2年毎に日枝神社のお祭りでお神輿かつぎがありました。日本橋一丁目のお神輿は日本一のお神輿と言われて、全国から担ぎ手がやってくるほどでした。町内会を担当しておりましたので、役員の手纏いはおあって、いい気分に参加させていただきました。打ち上げは国分さんの社員食堂を使わせて頂いておりました。

●＜銀行大合併時代の幕開け＞

平成10年3月に初めて東京営業推進部と言う本部勤務となりました。名前の通り支店の業績を上げるべくがんばる本部でした。東海銀行は割りと現場が強い面を持っている銀行でしたので、先輩支店長方には本部はなっていないと言った調子でかなり厳しいご指導を頂きました。そうした中で、平成10年は日本長期信用銀行と日本債券信用銀行が破綻し、前年は北海道拓殖銀行が破綻に追い込まれる状況で、東海銀行も楽な決算を続けていたとは思いませんが、正直なところ合併までするとは思いませんでした。平成14年に三和銀行と合併するわけですが、それまでの間、とにかく頑張ろうと言う機運は非常に強かったと思います。合併交渉が進む中で、当然お互いのやり方・考え方の違いの部分などの調整が必要となるわけですが、同業者と申しまして、やはりお互いのカルチャーの違いもあります。相当な体力を要しました。本来このような体力はお客様のために向けられてしかるべきものと思いますが、何とか平成14年1月15日の合併日を迎えることができました。合併の翌月2月に久しぶりに現場への辞令をもらい、神奈川県のがみ野支店の支店長兼法人営業部長となることができました。銀行に入った当時、どうせ銀行に入ったのだから一度でいいから支店長をやってみたいと思っておりました。夢が実現したとの思いは強いものがありました。もちろん支店長の仕事が、新聞を読みながらお茶を飲むこととは思っていませんでしたが、ところが思いもつかの間、統合効果を少しでも早く出さなければいけないと、一年も経たないうちに支店統合の内示があり、さがみ野支店は厚木支店に統合され、あっという間に本部に引き戻されました。さがみ野支店の歴史18年間の最後の支店長となりました。今度の本部は審査部門で、不良債権対応の企画をする部署でした。バブル崩壊から、いよいよ最終段階へ進んでいる時でした。二年近く在籍し、行内的にはある程度施策はできたところで今度は、人事部に転勤となりました。人事部とは言っても、出向などで先輩の最後のお世話をするところでした。不良債権の次はリストラカ・・・と思いつつ、頭取以外はみんないつか出向するんですよと先輩に申し上げながら、こちらからたまには飲みに行きませんかのお誘いの電話も、言葉の通り受け取ってもらえず、かなり友達を失ったかも知れません。ようやく本部を離れ今年3月。ついに、やってまいりましたこの碧南。久しぶりの現場で戸惑うことばかりです。新銀行でも、また支社長ができて大変幸せです。奇麗事を言うようですが、銀行名はどうなるうとも、如何にお客様の役に立つことができるかと言う点は変わりません。昨日も頭取が名古屋での会見で、中部地区は旧東海銀行の地盤を引き継いでおり、非常に重要な地域である、とお答えしておりました。地域になくはならない銀行と言って頂ける様に勤めたいと思います。どちらかと申しますと、私のこれまでの銀行員生活はあまり華やかな明るいところはありませんでした。私としましても、碧南ロータリークラブの名を辱めることなく、何よりもロータリアンとして、この明るい碧南で、明るい銀行員生活を送れるよう努力してまいります。

ご清聴ありがとうございました

次回例会案内 平成19年11月28日（水）

卓話「我、監督人生」

豊田大谷高等学校 硬式野球部 監督 中村 豪 氏